

水害対策 台風・大雨などに備えよう ～もしもの時に動けますか～

いつもの道が

「台風が来る」「ゲリラ豪雨だ」、そんな時に、どう行動すればよいでしょうか。

近年、台風やゲリラ豪雨などの大雨による大規模災害が発生しています。日頃から、水害に関する情報を収集しておくことや、災害時に「何を用意し、いつ、どこへ避難すればよいか」備えておくことで、たいせつな命を守ることができます。



災害の被害を減らすための3つのポイント

Point!

1 防災グッズや備蓄品を確認



食料、水、懐中電灯、ラジオ、電池、医薬品などの非常持ち出し品をあらかじめ準備し、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。

Point!

2 事前準備と情報収集



事前にその地域の避難計画や避難所を確認しておきましょう。また、雨量情報や河川の水位、気象警報をチェックできるように備えましょう。

Point!

3 家族との情報共有



家族間で、災害時にどのように連絡をとるのか、どこで再会するのか計画をしておきましょう。



白岡市マスコットキャラクター
シラオ仮面

実際に災害が起きた時、何をすればいいの…
いつ避難が必要で、どこに避難すればいいの？

マイ・タイムラインを作って災害時に備えよう



白岡市マスコットキャラクター
なりりん



自分だけの防災行動計画 マイ・タイムラインを作成しよう

マイ・タイムラインとは

マイ・タイムラインとは、自分がとるべき災害行動を時系列に整理し、水害時に避難が必要なタイミングを判断するための方法の1つで、台風の接近などで河川の水位が上昇する時に「いつ何をすればいいの」「どこに避難するか」など一人一人がとる防災行動を整理する計画表です。

ハザードマップに「マイ・タイムライン」が掲載されているので作成してみましょう。



※ハザードマップは市役所（安心安全課）、市公式ホームページで入手できます。



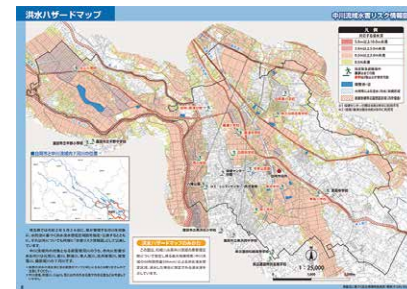
▲ハザードマップ

マイ・タイムラインの作り方



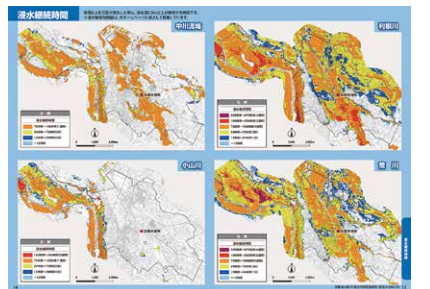
STEP 1 お住まいの場所の水害リスク・避難先を確認

自分が住んでいる場所のリスクを確認しましょう（ハザードマップP8～13を参考）。



STEP 2 浸水が引くまでの想定時間を確認

すぐに避難所へ行くのか、長時間家で避難するのか計画しましょう。家で避難できても、その後、長時間の浸水により生活などに支障が出ることを想定しましょう（ハザードマップP14～15を参考）。



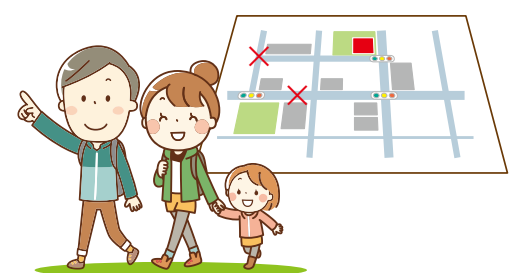
STEP 3 避難先を確認

自分が避難する場所までの距離や安全な経路、他の候補となる経路を確認しスムーズに避難できるよう備えましょう。



STEP 4 避難経路を歩いて確認

避難経路を実際に歩いて、大雨のときに水が溜るような場所、ブロック塀など倒壊のおそれなどがなければ確認しましょう。



STEP 5 警戒レベル・気象情報(気象庁)・避難情報(市)を確認

大雨や台風が近づくと気象庁や市が警戒情報を発信します。警戒レベルに合わせ、その時にどのような備えが必要か整理しましょう。

時間	水位情報	警戒レベル/気象情報(気象庁)/避難情報(市)	主な備え
3日間	台風が発生 水防団待機水位 水防団が出勤のため待機する水位	LEVEL 1 ○台風情報(※随時発表) ○早期注意情報	○テレビやインターネットで天気予報を確認 ○家族全員の今後の予定を確認 ○防災グッズの確認(不足していれば買出し) ○1週間以上の薬を病院に受け取りに行く
2日間	大雨・洪水注意水位 河川の氾濫の発生を注意する水位	LEVEL 2 ●大雨・洪水注意情報 ●氾濫注意情報	○家の周りに風で飛ばされそうなものがなければ確認 ○燃料等を確保 ○万が一に備え、親戚、知人に相談または避難開始 ○ハザードマップで避難場所、避難経路を確認 ○通行止め情報がないか確認 ○携帯電話等を充電 ○避難に時間がかかる場合は避難準備 ○インターネットで川の水位を調べる
1日間	氾濫注意水位 河川の氾濫の発生を注意する水位	LEVEL 3 ●大雨・洪水警戒情報 ●氾濫警戒情報 ●高齢者等避難 発令! ●避難開始の目安になります	○市ホームページや安心安全メールなどで避難所開設情報を確認 ○近所の人に災害情報を伝え、助けが必要か確認 ○持ち出し品の準備再確認 ○テレビやインターネットで気象、水位情報を再確認 ○安全なところへ移動開始
0時間	避難判断水位 洪水による被害の発生を待てば警戒する水位	LEVEL 4 ●土砂災害警戒情報 ●氾濫危険情報 ●避難指示 発令! → 緊急連絡メール	○危険な場所から全員避難 ○市ホームページ、安心安全メール、SNSで避難情報を確認
0時間	氾濫危険水位 洪水氾濫により家屋浸水等の被害が生ずるおそれがある水位	LEVEL 5 ●土砂災害警戒情報 ●氾濫危険情報 ●避難指示 発令! → 緊急連絡メール	○命を守る最善の行動をとる
0時間	氾濫が発生	LEVEL 5 ●土砂災害警戒情報 ●氾濫危険情報 ●避難指示 発令! → 緊急連絡メール	○命を守る最善の行動をとる

警戒レベル1

災害への心構えを高める必要があります。

最新の防災気象情報などの情報収集はどのようにするか、備蓄品の確保などの確認をしましょう。

警戒レベル2

避難行動の確認が必要です。

避難をする際の持ち物やどのような経路で避難場所へ行くのか確認をしましょう。

警戒レベル3

高齢者などは避難し、それ以外のかたも避難準備や自主避難が必要です。

周囲の高齢者などの避難方法を確認し、安全な所へ移動しましょう。

警戒レベル4

誰もが避難するタイミングです。

市が開設している避難所を確認して避難しましょう。

STEP 6 STEP 1~5 で整理・確認したことを参考にマイ・タイムラインとして書き出す

ハザードマップP16~17に直接記入してみましょう。

STEP1~5で整理、確認したこと、主な備えを参考に、避難行動を書き出しましょう。記入例の通り、ご自身の生活環境に合わせ、具体的に書き出すことで、もしもの時に冷静な避難行動がとれます。

警戒レベルに合わせて、どのような状況が想定され、その時に困ること、必要となるもの、「なに」をすればよいか考えてみましょう。

また、高齢者や乳幼児がいる世帯など、避難に時間がかかるような場合などの事情を踏まえ、「いつ」どのタイミングで避難をするのか決めておきましょう。

ハザードマップは、利根川、小山川、荒川、中川流域内の河川が氾濫した場合を想定しています。これらの河川を管理する河川事務所では、避難するタイミングを判断するための水位を公表しています。

令和4年4月には、利根川(栗橋観測所)の避難判断水位、氾濫危険水位が次のとおり見直されました。

見直しに当たっては、令和元年東日本台風で発生した洪水後、最新の測量成果などを用いて、流下能力を計算し、基準水位が評価されています。

マイ・タイムライン

いつ、どんな行動をとったらいいか考えて書き込んでみよう!

避難行動に備える河川水位

河川名(基準観測所)	水防団待機水位	氾濫注意水位	避難判断水位	氾濫危険水位	水位河川情報
利根川(栗橋観測所)	2.70m	5.00m	7.60m	9.20m	
荒川(熊谷観測所)	3.00m	3.50m	5.00m	5.50m	

※中川流域に関する基準観測所は、利根川(栗橋観測所)を参照してください。



一人でマイ・タイムラインを作成するのは不安だわ...

出前講座を活用してみるといいです

白岡市職員出前講座

水害などの災害に備えるため、市の職員が出張して災害対策に関する、さまざまな講座を開催します。「マイ・タイムラインの作成について」の講座もありますので、行政区などのグループで申込みをして、ご活用ください。

申込み 講座名、開催日時、開催場所、参加人数などを安心安全課へお伝えください。

他にもこんな講座があります

- 家庭内における防災
- ハザードマップについて
- 自分たちの地域は自分たちで守る
～自主防災組織の設立について～ など



▲詳細はこちら



災害が起きたときの情報はどうやって入手すればいいの...

市役所などから発信される情報を受信できるようにしておくといっす

水害時の情報の入手方法

防災行政無線

避難情報など市役所からのたいせつなお知らせを発信します。



安心安全メール

いつでもどこでも防災行政無線の内容をメールで確認できます。



市公式LINE

防災行政無線の内容や市役所からのお知らせが届きます。



市公式ホームページ

避難所開設、通行止めのお知らせなど確認できます。



POTEKA

全国の雨や気温、風速などの気象データをリアルタイムで確認できます。



河川ライブ映像

利根川の様子がライブで確認できます。



土のう配布しています

実際に水害が起こった際など、緊急時に市役所で土のうを配布しています。土のうが必要な場合は安心安全課窓口へお越しください。



▲土のうを作っている市職員

問合せ 安心安全課防災担当 ☎0480(92)1111内線372